

四谷地区協議会だより

No.

9

第9号

平成25年10月発行



—ぼいす—
Voice

新宿一丁目界限

新宿通りより新宿駅を臨む

10

11

12



10

11

17

秋葉神社

内藤新宿分水散歩道

片町界限

15

16

17



15

16

曙橋下の美化運動

なんげんトープ
お魚放流!!

ビル脇の湧水

カッパ現わる



詳しくは4、5頁の特集をご覧ください。

こんにちは町会長さん！

四谷29町会をぐるりとご紹介するコーナー



皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。

今回は片町と新宿一丁目です。

(ご紹介する町会は町会連合会で随時決定されています)

Q3 まちづくりのPRをどうぞ！
片町町会
 曙橋下に、放置自転車・不法投棄・住居不定者の居座り対策として、区と協働して植物を植えたプランターを設置して8年。今では植木もしっかり根付きました。毎週土曜には町会で清掃し、きれいな町づくりを目指しています。



新宿一丁目町会

町内のわきには新宿御苑遊歩道（玉川上水・内藤新宿分水散歩道）があり、銀杏並木の森林浴が楽しめます。又、秋葉神社（町会所有）には、毎日「火防守護」を祈願する参拝者が絶えることなく訪れます。落ち葉の季節の清掃は大変ですが、心をこめて掃き清めています。

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白ければ話しを教えてください！
片町町会
 都会の真中にも関わらず、湧水があります。片町のビル脇にこんこんと清らかな水が湧いていて、見るだけで心洗われます。

新宿一丁目町会

新年会は毎年ホテルニューオータニ40Fレストランで行います。眼下に赤坂迎賓館があり最高の眺めです。花園神社の例大祭には毎年200人以上の東京中から選抜きの神輿の担ぎが集まり、盛大に町内渡御が行われます。

Q1 地域の名物・名所、ご自慢をお教えてください！
片町町会
 合羽坂下の緑地帯に石造りのかわいいカッパが三つ。一つあるのか、何故あるのかわかりません。昔、カッパが出たとか出ないとか…。



新宿一丁目町会

大正九年の四谷区編入に伴い、新宿一丁目となった現在の町会の範囲は新宿通りの西側部分であり、一丁目町会にはバス停が2ヶ所（一丁目・二丁目）と新宿御苑前駅や四谷消防署御苑出張所、その隣には樹木しげる秋葉神社（町会所有）があります。

平成 25 年
5 月 22 日

「第5期四谷地区協議会」が発足しました！



第5期地区協議会役員と出張所職員

平成 27 年 5 月全体会開催日までの 2 年間の任期を 50 名の委員がそれぞれの「四谷を思う心」を大切に活動します。その思いの一端を役員会が代表してお届けします！
※広報リーダーの声は8頁に掲載しています。

地域活動に育まれて

手前味噌で恐縮ですが、本年4月に着任した際、出張所職員が何事にも誠実にスピーディーに対応する様子を見て心強く思いました。着任から半年が経ち、地域の方々のコミュニケーションが増えるにつれ、職員を育ててくださったのは、地域の皆様であると確信しました。私自身も「四谷の心」に何度も触れ、日々成長させていただいております。これからも地域と行政の協働による課題解決の道程を行政職員として皆さまと共に歩いていきたいと考えています。今後ともお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



四谷地区協議会事務局 四谷特別出張所所長 安藤 広志

<h4>地域の皆様へ</h4> <p>四谷地区協議会会長 松川 英夫</p> <p>2年前に会長職を仰せつかり、今期も改めて会長にご指名いただきました。心新たに、役員一同と力を合わせ「協議会活動」の舵取りをさせていただきます。</p> <p>さて、各分科会では発足以来、数多くの実績を積み重ね、地域の絆を活かした質の高い活動を目指し、これからも成長が楽しい組織です。</p> <p>そして、四谷は「歴史と文化の香り」が豊かな地域です。わが町「四谷」で、地区協議会が充実した活動ができますよう、町会をはじめ各団体、そして皆様に育んでいただきたく、委員一同を代表してお願い申し上げます。</p>	<h4>円滑な活動は微調整から</h4> <p>調整担当 渡邊 成幸</p> <p>地区協議会活動に関わり5年目を迎えましたが、振り返ると地区協議会委員の熱心さを改めて感じております。同時に「調整」という役割の難しさも感じています。事務局である出張所と連携しながら、言わば協議会の相談役のような立場で円滑な活動を支えさせていただいております。</p> <p>協議会活動への参加者は年々増え、町の人々の交流において大切な役割を担っています。協議会が地域で役割を明確に果たせるよう、微調整の積み重ねで私なりの地域貢献を努力したいと思っております。</p>	<h4>災害時に備える</h4> <p>課題別プロジェクト 防災・地域安全リーダー 大塚 光男</p> <p>課題別プロジェクトは、その名のとおり多々ある地域課題のポイントを絞り自分たちの力で解消することを目的に生まれました。</p> <p>「災害時に生き抜く」「命を救う知識を学ぶ」そのために、小さなことから努力しよう！情報を共有しよう！と、第2期より受継いできた救命救急法の講習会開催を始めとした自治活動を皆様と共有する場づくりを目指します。</p>
---	---	---



今後の「まち歩き」の予定

※概ね1か月前より広報しんじゅく、地域掲示板等でご周知します。

テーマ	日程
内藤新宿まち歩き ～宿場町・内藤新宿の風情を訪ねて～	終了しました
南寺町を訪ねて ～四谷ゆかりの歴史上の人物を巡る～	11月9日(土)
信濃町駅界隈散策と 神宮外苑いちようまつり ～美しい秋の風景を探して～	12月7日(土)
四谷三丁目界隈の美術館・博物館を巡る ～子どもも大人も楽しいまち歩き～	2月8日(土)
外堀の桜鑑賞と四谷見附界隈を歩く ～外堀を体感する～	3月29日(土)
甲州街道と歴史博物館を訪ねて ～四谷今昔物語～	5月10日(土)

四谷地区にお住いの皆様へ

四谷の観光まちづくりを

一緒に考えませんか

協議会では地域の皆様と、まちづくりを「観光」の視点から捉え、おとな子どもも「自らのまち、四谷地域を見直す」観光まち歩きと四谷を訪れてくださる方が「地域の人による親しみを感じられる案内のある」観光まち歩きを実現しようと考えています。

地域の歴史に詳しい方、ガイドをしてみたい方、ぜひご参加ください！

ご興味ある方はお気軽にご参加ください！
 四谷と自分の新たな魅力さがしをご体験ください！
 詳しいお問合せは四谷地区協議会事務局（四谷特別出張所）まで



第1分科会 まちづくりを考える

リーダー 高野 健

私たちは、自分たちの住むまちに良いところや悪いところがあっても、日常、気づかず通り過ぎてしまっていることが少なくありません。「お宝さがし」「観光まちづくり」「四谷を識る勉強会（四谷学）」の活動によって、みんなで四谷の魅力を探りだしてみようと思っています。

第2分科会 健康で安心なコミュニティづくりを考える

リーダー 大友 敏郎

地区協議会活動の魅力は人と人の繋がりにあると思います。高齢者向け健康体操も様々な地域団体、地域住民と力を合わせ推進し、多くの参加者に喜ばれています。また、「四谷子ども見守り隊」も200人近い登録者・地元企業によって支えられて活動しています。これからも、新宿区（行政）任せにしない「地域課題解決の場」として成長したいと思っております。

第3分科会 生活環境・まち美化を考える

リーダー 田中 健士

地域の気持ちいい環境づくりを目指して、地域と協力して一斉清掃や花いっぱい運動のフラワープランター設置を推進しています。また、活動のひとつである「内藤とうがらしプロジェクト」では、ファミリーキャラクター「ないト一家」をデビューさせました。四谷名物のキャラクターとして可愛がって下さい。緑の多いきれいな町には自然と笑顔があふれるはずですよ。

公園を地域の宝物に!!

四谷地区の

公園サポーターをご紹介します

公園サポーターとは…みなさんの創意工夫で公園を快適に美しくする活動です

今回は一部の公園サポーターをご紹介します。

活動団体名 愛住公園サポーター

活動公園 愛住公園 活動年数 6年
構成人数 7名

「桜を染め抜いたエプロンが自慢です。美しい花々が咲き乱れ、皆さんから喜ばれています。最近『内藤とうがらし』の栽培も始めました。真っ赤に実をつけるのが楽しみです。」



活動モットー
地域の良き憩いの場として

活動モットー
地域支援の輪をつなげよう

活動団体名 若年認知症社会参加支援センター ジョイント

活動公園 花園西公園 活動年数 6年
構成人数 12名

「公園の木陰は憩いの場所です。新緑から紅葉へと季節の移ろいを味わえ、清掃活動を見守ってくれる人達と『今日もいい日にしようね』と、無言の交流を感じます。」

公園のサポーターを募集しています

問い合わせ先

新宿区みどり土木部
みどり公園課

TEL 5273-3914(直通)

活動団体名 株式会社オープンループ

活動公園 花園公園(スクールパーク)
活動年数 7ヶ月(毎週金曜日に実施)
構成人数 約20名が5~6人づつ当番制で活動

「小学校に隣接している特殊な公園であることから、清掃活動に留まらず、児童を見守るボランティアの方や、地域の皆様と共に『地域の目』となって、活動を継続しています。」



緑 Green

サポーターズボイス①
緑や花を育てていると、身も心もリフレッシュします

人 Person

サポーターズボイス②
笑顔の交流が広がって、とても楽しいんです

街 Town

サポーターズボイス③
きれいで安全…公園は地域の文化を映す鏡だと思ってます

活動団体名 荒木町町会公園サポーター

活動公園 荒木公園
活動年数 10年(登録は平成23年)
構成人数 18名

「朝は高齢者の憩いの場、昼間はサラリーマンの休憩場所として、職人さんが汗を拭い一息入れながら、草花に水やりをしてくださるなど昼夜を問わず皆さんに愛される小さな可愛い公園です。」

活動モットー
元気で明るくやさしい町づくり



活動モットー
多世代で育てる楽しい場所に

活動団体名 なんげんトープの会

活動公園 みなみもと町公園
活動年数 3ヶ月(本年登録したばかりです!)
構成人数 5名

「できたばかりの会ですので、池の生き物の拡充、掲示板の設置、他地区サポーターとの情報交換などを通じ、更に仲間の輪を広げていきたいと思っています。四谷地区協議会とも協働して、清掃や地域の方が楽しめるイベントを開催しています。」

サポーター募集中

くわしくは、
四谷地区協議会事務局まで

四谷地区公園一覧

名称	所在地	♿	♿	♿
* 愛住公園	愛住町 11	○	—	—
* 荒木公園	荒木町 10	○	—	—
三栄公園	三栄町 24	○	—	—
左門公園	左門町 5	○	—	—
* 信濃町希望公園	信濃町 30	—	—	—
* 信濃町友情公園	信濃町 29	—	—	—
* 新宿公園	新宿 2-9	—	—	—
* 須賀公園	須賀町 8	—	—	—
大京公園	大京町 14	○	—	—
内藤町けやき公園	内藤町 1	—	—	—
* 花園東公園	新宿 1-25	—	—	—
* 花園公園	新宿 1-21	○	—	—
* 花園西公園	新宿 1-32	○	—	—
* みなみもと町公園	南元町 20	○	○	○
もたち公園	南元町 4	○	—	—
四谷見附公園	四谷 1-12	○	—	—
* 若葉公園	若葉 3-4	○	—	—
* 若葉東公園	四谷 1-12	—	—	—
曙橋児童遊園	片町 4	—	—	—
* あらき児童遊園	荒木町 11	○	—	—
* 大木戸児童遊園	四谷 4-9	○	—	—
大番児童遊園	大京町 31	○	—	—
* かすみ児童遊園	霞ヶ丘町 5	—	—	—
信濃町児童遊園	信濃町 20	—	—	—
新左門児童遊園	左門町 19	○	—	—
* 津の守坂児童遊園	坂町 24	○	○	○
* 出羽坂児童遊園	南元町 4	—	—	—
内藤児童遊園	内藤町 1	○	—	—
* 榎児童遊園	坂町 22	—	—	—
みなみ児童遊園	南元町 18	—	—	—
みょうが坂児童遊園	四谷 4-23	○	—	—
よつや児童遊園	四谷 2-8	○	—	—
* 須賀町遊び場	須賀町 1	—	—	—
よつや運動広場	四谷 1-1	○	—	—

*印はサポーターの活動している公園です(新宿公園は休園中です)

「指定管理者」って何ですか?

新宿区総合政策部行政管理課に聞きました!



四谷図書館

いつも利用させてもらっている区の施設。この施設で働いているスタッフは区の職員ではなく、「指定管理者」の職員だと聞いてびっくりしました。これはどうしてですか?

先日、こんな質問が区民から地区協事務局に寄せられました。実はこちら、「指定管理者制度」といって、区の施設の管理を、民間企業やNPO団体、ボランティア団体などに行わせることができる制度。新宿区でも平成15年から導入され、現在区内の多くの施設が「指定管理者制度」によって管理されているのです。

この10年ほど、図書館など区の施設の開館時間が延長されたり、イベントが活発におこなわれるようになったことを感じている区民も多いかもしれません。施設におけるこうしたサービスの向上も、この制度の恩恵とが。区で「指定管理者制度」を担当している総合政策部行政管理課にうかがいました。

Q1 「指定管理者制度」のあらましをおしえてください。

A 平成15年に地方自治法が改正され、新たに創設された制度です。以前の法律では、区の施設の管理、運営は、公共団体や第三セクターなど、公共的な団体だけが代行できるという決まりがありました。一方、平成15年に新たに創設された「指定管理者制度」では、民間企業や市民団体などにまで対象を拡大、区の施設の管理、運営に、民間の能力やノウハウを幅広く活用することが可能になりました。行政サービスの水準を向上させ、行政コストを削減することを目的としており、新宿区でも図書館、地域センター、スポーツ施設、シニア活動館、公園など、すでに85の施設(平成25年9月現在)で、指定管理者制度による管理運営がこなわれています。

Q2 指定管理者になるのは、どういった企業や団体ですか?

A 基本的には施設ごとに公募をおこなう、一定の条件を満たした民間企業や各種法人、団体などが、議会の議決を経て指定されます。たとえば四谷地区では、四谷図書館の指定管理者は、「(株)伊国屋書店」と、図書館運営サービスなどをおこなう「(株)ヴィアックス」の2社による共同事業体が平成22年から、信濃町シニア活動館、新宿地域交流館は、「生活協同組合・東京高齢協」が平成21年から指定管理者として指定されています。また地域センターの場合は、「(管理)運営委員会」を組織し、同施設の管理、運営を行なっているなど、施設によってさまざまな企業や団体が指定管理者となっています。

Q3 制度がスタートして10年あまり。具体的な効果をおしえてください。

A まず、この制度を取り入れた施設の多くで、開館時間の延長が実施され、区民のみならずからも好評の声を多くいただいています。たとえば四谷図書館を例にとると、現在の開館時間は平日(火~土曜)が従前は午前10時から午後8時まででしたが、指定管理者制度の導入で午前9時から午後9時45分までとなり、日曜・祝日は午前10時からでしたが、午後9時から午後6時までとなりました。また区の管理運営では画一的になりがちだった施設でのイベントなども、民間のアイデアで内容が多彩になりました。また、新宿コズミックセンター等のスポーツ施設ではスポーツ教室などが増えて、区民の利用が拡大、各図書館でも場所の特性を生かして、子ども向けイベントやビジネスマン向けイベントなどが多く開かれるようになりました。新宿区ではこれからも、区民の多様化するニーズに対応してサービスを向上させる、指定管理者制度による施設を増やしていく予定です。ぜひ、ご利用ください。



図書館子ども向けイベント

四谷地区協議会主催

転ばぬ先の…… ストレッチ教室

新宿地域交流館会場トピックス!

平成25年4月から新宿区より館の運営を受託している指定管理者「生活協同組合・東京高齢協」と四谷地区協議会がストレッチ教室の協働運営を開始しました。新宿区初となる**指定管理者**と地区協議会の協定の締結により、費用面の負担と周知、運営を協力しています。この協働により参加料が無料になりました。高齢者がいきいきと楽しく暮らせるための健康づくりをこれからも応援します。ぜひ一度お気軽にご参加ください!!



教室のご案内

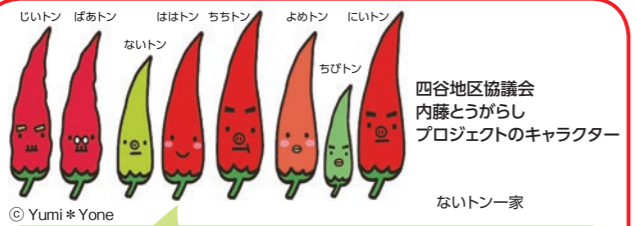
会場	開催日	受付時間	体操時間	参加費
新宿地域交流館	第1・3火曜	9時45分~10時	10時~11時30分	無料
	第2・4木曜	10時15分~10時30分	10時30分~11時30分	

※初めて「地域交流館」を利用する方は、利用証作成(無料)が必要です。保険証等をお持ちください。
※火曜日の講座時間は1時間30分です。運動だけではなく「体によいお話し」の時間が含まれています。

生活協同組合 東京高齢協とは…

東京高齢協は、くらしやすい社会や地域づくりに役立つ活動や取り組みへの参加をすすめ、社会的な役割発揮と地域への貢献をめざしています。指定管理者制度が発足すると同時に、行政等諸機関との協働で助け合い、ふれあい、支えあい、人と人がつながり合う地域づくりに努力してきました。現在、新宿区と練馬区でシニア活動館、地域交流館、敬老館など5つの高齢者施設を受託しています。館運営については以下を目標としています。

- 地域で高齢者の介護予防の取組を支援します。
- 高齢者が地域社会に積極的に参加できるようにします。
- 憩いや交流の場として地域の高齢者が集う、特に独居の高齢者が気楽に立ち寄れる館を目指します。



四谷地区協議会 内藤とうがらしプロジェクトのキャラクター

高遠と四谷 内藤とうがらしが育む新たな交流をご紹介します

四谷地区協議会では、NPO「おいしい水大使館」とのご縁により「地域で育てる内藤とうがらしプロジェクト」を推進していますが、四谷とゆかりのある伊那市(旧高遠市)でも「内藤とうがらし」の栽培を促進しています。四谷地区協議会の内藤とうがらしキャラクター「ないトン君」が、高遠版「内藤とうがらしプロジェクト」を推進する観光協会の高島さんに直撃インタビューしました。

- ポイント** 活動を始めたきっかけは? 「内藤とうがらしプロジェクト」に姉妹都市新宿の皆さんが取り組んでいることを知り、高遠でもスタートしました。
- ポイント** 将来の夢はなんでしょう? 新宿・四谷の皆さんと一緒に、知って・育てて・味わって楽しみたいと思います。「内藤家の菜園」発の作物を、内藤家の国元「高遠藩」で育て、新宿の皆さんに活用して頂く事を夢見ています。高遠藩でも活用しますよ。
- ポイント** ズバリPRを一言どうぞ 高遠の内藤とうがらし畑を見に来てください。平成25年11月1日~10日「高遠城址の秋祭り」でも展示販売します。お問い合わせ 高島:携帯 090-4442-7432 e-mail:taka1955@kcd.biglobe.ne.jp

四谷地区協議会主催 第6回「地域を識る勉強会」

『四谷ゆかりの作家(文学編)』 ~文学座と四谷~ 開催報告

今回のテーマは「文学」。新宿歴史博物館学芸員 宮澤聡氏により、二葉亭四迷、堺利彦、齊藤茂吉、長田幹彦、芥川龍之介、中島敦、三島由紀夫等の名だたる四谷に縁ある著名な文学者が紹介されました。また、信濃町に本拠地を構える「文学座」の附属演劇研究所主事 伊藤正道氏により、貴重な文学座の歴史と活動をご紹介いただきました。

第2部では宮澤氏より「四谷文学散歩」コースの発案をいただき、四谷四丁目町会長 坂部健氏より近代史以前に活躍した文学者・国学者として、田安家に集まった大岡雲峰や林国雄等をご紹介いただきました。そして当会観光まちづくり実行委員会委員長 田中健士より、散歩コース案をさらに広げた案も提示されました。

参加者からは、「ぜひ、四谷ゆかりの文学を次世代が読み親しんで欲しい」旨の意見が出され、折よく四谷中学の学校図書の実を推進している四谷中学応援団団長でもある田中氏により、「早速、ご意見を反映した図書の寄贈の検討を始めたい」との積極的な回答がありました。

四谷を学び、識ることで、わが町を思う心を育てる勉強会が結ぶ地域連携を今後も楽しみに、今年度の勉強会の幕を閉じました。



1950年に完成した文学座アトリエ前に集う俳優、関係者

四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介～



発表会参加者が酔いしれた音のお宝

第6回を数えた2013年3月の「四谷のお宝さがし発表会」。今年1年間に応募された多くのお宝が展示された会場に、SPレコードの懐かしい音色が響きました。奏でていたのは、100年ほど前に作られたという貴重なラップ型蓄音機。昭和ひと桁生まれの阿部昭雄さんのお宝です。

阿部さんは、かつて大手レコード会社の録音技術者でした。1962年頃までは、レコードの吹き込みもオーケストラや歌手がスタジオに集まって同時に録音をする、いわゆる「一発録り」の時代。そんなレコード録音の音を現場で調整するミキサーとして、三橋美智也、春日八郎、倍賞千恵子など多くのヒット曲の録音を担当しました。

音のプロらしく、電気を使わずに録音したレコードの収集が50年来の阿部さんの趣味。20年ほど前、秋葉原の電気街で古いラップ型の蓄音機に出会ったのをきっかけに、そのフォルムと音に魅せられ、電気を使わない蓄音機のコレクションも始めました。

発表会では、蓄音機コレクションのなかから1910年頃に製作された英国グラモフォン（H.M.V）の蓄音機とレコードを阿部さんが持ち込み、ミニレコード鑑賞会を開催。同時代にやはり電気を使わずにラップ式で録音された歴史的な名歌手ファアラの「蝶々夫人」などのレコードとの約100年ぶりの出会いに、会場が酔いしれました。

阿部さんは言います。

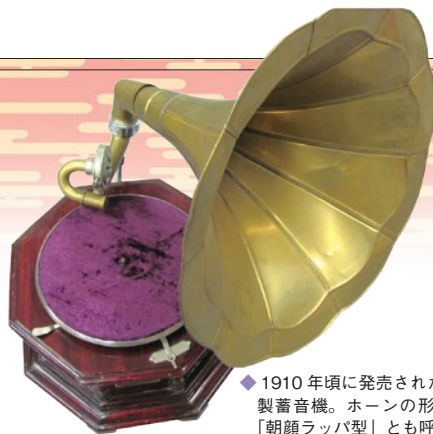
「レコードを1枚かけ終わるごとに、ゼンマイを手で巻き、針を取り替える「儀式」も、古い蓄音機の魅力。そんな100年前のゆったりした時間と、懐かしい音を共有して、みなさんに喜んでもらえた。うれしかったですね」

この発表会をきっかけに、阿部さんの蓄音機が奏でるレコード鑑賞会は地域センターサロンコンサートなどでも開かれるようになり、その懐かしさも温かみのある音色のファンを増やしています。

実行委員長のコメント

手巻き蓄音機から流れる音楽や歌声は単に懐かしいだけでなく、人の心の奥に眠っていた遠い昔を蘇らせてくれます。ホーンから煙のように音楽が流れだす風情はまるで「アラジンと魔法のランプ」のよう。参加者みんなで体感した不思議で魅惑的なお宝でした。

四谷地区協議会お宝さがし実行委員長 豊村泰彦



◆1910年頃に発売された英国製蓄音機。ホーンの形から、「朝顔ラップ型」とも呼ばれ、円盤は手巻きのゼンマイ式で回る仕組みです。



◆当日はほかに、藤原義江がアメリカで録音をおこなった「荒城の月」（1925年）、佐藤千枝子「東京行進曲」（1929年）などのレコードも鑑賞しました。



◆SPレコードを熱く語る阿部さん

編集・発行

四谷地区協議会【事務局】

（四谷特別出張所内）

〒160-8581 新宿区内藤町87番地

電話 3354-6171 FAX. 3350-9403

E-mail : <http://www.city.shinjuku.lg.jp>

次号は平成26年3月発行予定です。

編集後記 ～リーダーの声～

◆今号の“教えて地区協”では、「指定管理者制度」について何ってきました。施行されて10年近く。今後も、多くの区の事業がこの制度の対象に考えられています。率直な感想として何事もそうですが、制度や運用の見直しは常に必要だと思いました。そして、私たちもこの制度を理解することが大切です。◆広報誌「声」は行政と地域を双方向でお伝えする情報誌です。区の職員が地域を知る上でも役立つと自負しています。そのためにも、皆様の「声」をお待ちしています。



広報リーダー
野澤秀雄